

平成30年度 第1回新潟東警察署協議会議事概要

開催日時	平成30年6月19日(火) 午後4時00分から午後5時50分まで		
開催場所	新潟東警察署講堂		
出席者	委員 (定数11人)	金子会長 渡辺副会長 五十嵐委員 石黒委員 小林委員 佐藤委員 白井委員 滝澤委員 夏目委員 山作委員 (会長・副会長以下50音順)	計10人
	警察	佐藤署長 落合副署長 板垣会計官 嶋貫警務課長 星野留置管理課長 岡崎生活安全課長 尾崎地域課長 小俣刑事課長 梨本交通課長 大滝警備課長 警務係長	計11人

委員の委嘱

署長から、新たに委員に委嘱された白井委員、滝澤委員に委嘱状を交付した。

警察幹部、委員の自己紹介

警察幹部、委員からそれぞれ自己紹介があった。

会長挨拶

金子会長から「先頃、西区において大変な事件がありましたが、警察の方の機敏な捜査により犯人が検挙され、ほっとしております。警察の方には、日頃から住民の安心安全のために努力されていることに感謝申し上げます。」旨の挨拶があった。

管内の治安概況

署長から、平成30年5月末現在の管内の治安情勢等について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する取組状況

署長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 進学・進級時における少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化

- (1) 非行少年・不良行為少年の状況 (平成30年1～5月)
- (2) 少年の福祉を害する犯罪及び少年被害にかかる犯罪取締りの推進状況
- (3) 青少年の健全育成活動の推進状況

(4) 通学路における警戒活動の強化

2 新入学(園)児童の交通事故防止対策の推進

- (1) 平成30年5月末現在の東区の交通事故発生状況
- (2) 新入学(園)児童の交通事故防止施策推進状況

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故の発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 夏の水難事故防止

新潟県は、長く美しい海岸線に数多くの海水浴場を抱え、毎年、夏には県内外から多くの海水浴客が訪れている。その一方で、この時期には海や河川等において、多くの水難事故が発生している。

平成29年夏期(7月・8月)の新潟県内における水難事故は24件発生し、うち海での事故が14件で、全体の約58%を占めている。

東区では、山の下海浜公園の先に海水浴場があり、夏には多くの海水浴客が訪れているが、警察としては、パトロールを通じた立ち寄り警戒や、交番が発行する広報紙による地域住民への注意喚起など、水難事故防止に向けた取組みを推進する。

2 高齢化社会総合対策の推進

新潟県内では、交通事故死者に占める高齢者の割合が、平成16年以降14年連続して全体の半数以上を占め、高齢者対策が喫緊の課題となっている。

本年は、発生件数、負傷者数は減少しているが、交通死亡事故は増加しており、特に、全交通事故死者の7割以上を高齢者が占めるなど厳しい状況下にある。

一方、特殊詐欺も高齢者被害が全体の5割を占めており、今後の高齢化社会の進行を考慮すると極めて深刻に受け止める必要がある。

これまでの警察の対策は、交通事故防止や特殊詐欺被害防止など態様ごとのアプローチが主体であったが、今後は徘徊事案や孤独死などを含めた高齢者に共通する特徴に着目した総合的な対策を推進する。

答申

新潟東警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等

1 仕事柄、お客様に電話をかけると「この電話は録音されています。」といったメッセージが流れることが多くなった気がする。留守番電話の設置に補助金が出るという話を聞き、非常に良いことだと思った。

- 特殊詐欺の手口は、電話を使用するという共通の特徴があるため、県警察では被害防止に有効な対策として録音装置付電話機の導入を呼び掛けており、当署も5台ほど貸し出しております。量販店でも5,000円程度から販売されているので、

今後も導入促進に向けた広報活動を推進してまいります。

高齢化社会総合対策については、東区役所や社会福祉協議会、地区交通安全協会、防犯協会等と連携しながら、交通事故や特殊詐欺以外にも徘徊事案や孤独死等の高齢者に共通する特徴を踏まえた総合的かつ効果的な対策を推進してまいります。

2 77歳の女性が1,000万円の特殊詐欺の被害に遭ったらしい。改装費名目の詐欺という話もあるが、警察で把握しているか。それとも認知症なのか。

○ 警察では把握しておりませんので、情報があれば教えて頂きたいと思います。

3 独居高齢者の孤独死の話を良く聞くが、孤独死を少しでも減らすには、警察と関係機関がデータを共有するなど連携した対策を取る必要があると思います。

○ 以前、新潟市の担当者、警察、有識者、住民代表等で、地震や災害発生時の対応等を協議する機会がありました。その際、町内会長さんから「地震などの緊急事態に備え、人の助けがないと避難できない独居高齢者や介護が必要な人の情報を、町内会長だけにでも提供できないものか。」との意見・要望が出されましたが、現状では難しいということで結論は出ませんでした。警察としましては、委員の御意見を踏まえ、今後、関係機関と高齢化社会総合対策を進める中で、データの共有についても検討してまいります。

4 西区で痛ましい事件があったが、個人情報やプライバシーを尊重するあまり、善良な市民が犯罪に巻き込まれる事件が発生している。犯罪被害防止のため、町内会長や自治会長に対して、過去に犯罪を犯した人の情報提供はできないものか。犯罪者の更正の観点から非常に難しい問題ですが、善処して頂きたい。

○ 現行の法律の下では、基本的人権や個人情報、プライバシー保護等の問題から犯罪前歴者に関する情報提供ができないことを御理解いただきたいと思います。

5 西区の小学生殺害事件の犯人は、過去に警察に捕まったことがあると報道されていたが、実際に警察は知っていたのか。

○ 現在、鋭意捜査中の事件のため、コメントは控えさせていただきますが、警察では、逮捕した事件以外にも、任意事件など数多くの事件を取り扱っており、逮捕した事件は、原則、報道機関に発表しております。

なお、ニュースや記事になるかどうかは報道機関の判断となります。

6 西区の殺人事件を契機に各地区の防犯活動が活発になり、特に見守り隊の活動の必要性を実感している。「子供110番の家」の場所を各家庭に回覧すれば活性化につながると思うが、通学路は決まっているのか。また、以前、ひまわりクラブで夏休みに大人を交えて「いかのおすし」の紙芝居をやったところ評判が良かった。

○ 西区の事件を契機に見守り活動の在り方が全国的に注目されており、6月下旬に関係省庁が協議し、国としての取組指針が示される予定と聞いています。その後、各地区の警察、学校、PTA等の関係機関において、通学路の危険箇所の再点検や子供の見守り活動の具体的検討に入ることになると思われま。

制度開始から20年以上経過した「子供110番の家」については、最新のデータを地図に落とし、子供さんのいる御家庭への配布を検討しております。また、通学路は、基本的に各小学校区単位で定められているとのことですし、今後、ひまわりクラブにおける防犯講習会の開催も予定しております。

7 昼間でも薄暗い地下道のパトロールをお願いしたい。

○ 個別のパトロール要望は、担当部署に伝えて対応させていただきます。

8 道路事情や建物の関係なのかわからないが、パトカーや救急車のサイレンのする方向が分かり難い気がする。事故防止のため、お互いに気を付けなければいけない。

○ 交通法令遵守と安全確認の励行を徹底し、パトカーを含めた公用車の交通事故防止に努めてまいります。

9 子供の非行は100パーセント家庭に問題があると思うし、親の教育も必要だと思うが、警察は家庭環境をどの程度把握しているのか。水難事故の関係では、海水浴場等のパトロールをお願いしたいが、パトカーにAEDは積載しているか。

○ 非行少年を検挙・補導したときは、必ず保護者に連絡して保護者共々指導をしております。また、パトカーにAEDは積載しておりません。

前回質問事項等の回答

交通課長から、前回の質問事項等についての回答があった。

- 1 管内の運転免許の返納は、今年は5月末までに186件あり、県全体が3,933件ですので、全体の約5パーセントが管内で返納されていることとなります。
- 2 通行の妨げになっていた秋葉通2丁目の電柱の移設につきましては、自治会から道路管理と設置者に申し入れを行い、「冬までには移設する見込である。」旨の回答を受けております。
- 3 朝の渋滞要因となっていた国道113号線のバスレーン規制については、交通量等の実態を踏まえ、バス専用からバス優先に変更するべく本部担当部門と調整中です。

その他

警察署協議会の開会に先立ち、署道場において、県下大会に向けた逮捕術強化訓練の様子を視察し、指導員から競技内容や技の種類、訓練内容等の説明を受けた。

委員からは「女性警察官も堅い用具を使うのですね。」「迫力があって頼もしい。」等の感想があり、有意義な視察となった。

